

通常第一審における終局人員の身柄処遇状況(地簡裁総数, 自白・否認別)

自白・否認別	年次	区分				
		終局人員(A)	勾留された人員(B)	勾留率(B/A)	保釈された人員(C)	保釈率(C/B)
総数	平成23年	67,110	53,650	79.9	9,679	18.0
	24	65,074	51,810	79.6	10,024	19.3
	25	60,338	47,912	79.4	9,570	20.0
	26	59,667	47,032	78.8	10,438	22.2
	27	60,887	46,815	76.9	11,464	24.5
	28	59,103	44,761	75.7	12,283	27.4
	29	56,115	41,975	74.8	12,218	29.1
	30	54,862	40,582	74.0	11,950	29.4
	令和元年	53,262	38,953	73.1	11,985	30.8
2	51,017	37,768	74.0	11,375	30.1	
自白	平成23年	60,822	48,592	79.9	8,895	18.3
	24	58,594	46,562	79.5	9,180	19.7
	25	53,372	42,559	79.7	8,661	20.4
	26	53,385	41,860	78.4	9,580	22.9
	27	54,521	41,650	76.4	10,479	25.2
	28	52,563	39,469	75.1	11,079	28.1
	29	49,629	36,727	74.0	10,946	29.8
	30	48,823	35,753	73.2	10,754	30.1
	令和元年	47,180	34,123	72.3	10,794	31.6
2	45,355	33,276	73.4	10,335	31.1	
否認	平成23年	5,099	4,294	84.2	762	17.7
	24	5,351	4,534	84.7	819	18.1
	25	5,962	4,734	79.4	897	18.9
	26	5,221	4,457	85.4	836	18.8
	27	5,211	4,423	84.9	950	21.5
	28	5,373	4,520	84.1	1,170	25.9
	29	5,282	4,455	84.3	1,221	27.4
	30	4,846	4,034	83.2	1,151	28.5
	令和元年	4,847	4,029	83.1	1,137	28.2
2	4,254	3,581	84.2	987	27.6	

- (注) 1 実人員である。
 2 総数には、自白及び否認以外に被告事件の陳述に入らずに終局した事件を含む。
 3 「自白」とは、終局の段階において、すべての公訴事実を認め、かつ、法律上犯罪の成立を妨げる理由又は刑の減免の理由となる事実を主張していない場合をいい、「否認」とは、終局の段階において、公訴事実の全部若しくは一部を争い、又は、公訴事実を認めながら法律上犯罪の成立を妨げる理由若しくは刑の減免の理由となる事実を主張した場合及び被告人が終局の段階まで黙秘していた場合をいう。
 4 「保釈された人員」とは、保釈保証金の納付等により身柄が釈放された人員をいう。
 5 令和2年は速報値である。